



発行が4月にずれこみ申し訳ございませんでした..



Letter

2003.6.7 VOL.5

CODE海外災害援助市民センター発行
〒652-0801 神戸市兵庫区中道通2-1-10
TEL : 078-578-7744 FAX : 078-576-3693
e-mail info@code-jp.org URL <http://www.code-jp.org/>
郵便振替 : 00930-0-330579

NPO法人化へ向けて進んでいます。

去る5月16日金曜日神戸YMCAにて、芹田代表が議長をつとめ2003年度総会が開催されました。出席者は、正会員20名の内14名の出席（委任状5通）。オブザーバー参加5名に事務局を加えた総勢25名で行われました。法人設立のための設立総会として、法人格取得へ向けて動き出しました。今後書類等の申請の手続きに入り、今年秋頃には認証されることと思われます。

今年度の事業計画については、裏面にもありますように、通常はセミナー開催などを通して市民のみならずみなさまと共に学ばせていただいております。昨年度以上にみなさまと共に学び会える場を創出していく予定です。また、来年2004年1月17日で阪神・淡路大震災より10年目に入りますので、10周年に向けた準備も始めていきます。セミナーなどの開催情報は、随時皆様へ本レターやメール、FAX通信などでお伝えいたします。多数のご参加をお待ちしておりますので、よろしくお願いたします。

また救援プロジェクトは現在別紙のように、イラン地震、アフガニスタン支援や中国ウイグル地震、トルコビンギョル地震、アルジェリア地震を対象に展開中です。災害はあってはならないことですが、規模の大きさに関わらず世界中のどこかで日々災害は発生しています。事務局では、OCHAリリースウェブや関係機関からの情報収集を絶えず行っております。新たにホームページ上で災害情報を中心に世界の「くらし」の様子を伝える「ワールドボイス」を運用していますので

一度、ご覧下さい。

財政面については、発足から1年不足ですので、正直なところまだまだ順調とは言えませんが、第4号でも皆様に郵便振替用紙を同封させていただきましたが、当センターの運営は、皆様からの会費やご寄付、その他事業収入、助成金などから成り立っております。是非、皆様にご入会いただきますようお願い申し上げます。また、CODEメーリングリストの参加やFAX通信をご希望の方はご遠慮なく事務局までお申し出下さい。

会員の皆様には、後日お手元に総会資料ならびに議事録を郵送させていただきます。

2003年度体制

代表理事：芹田健太郎(神戸大学大学院国際協力研究科教授)
副代表理事：室崎益輝(神戸大学都市安全研究センター教授)
山口徹(神戸YMCA顧問)

- 理事：黒田裕子(しみん基金KOBE理事長)
- 理事：島田誠(アートサポートセンター神戸)
- 理事：西正興(ユーハイムコンフェクト会長)
- 理事：野崎隆一(神戸まちづくり研究所事務局)
- 理事：秦正雄(コープこうべ)
- 理事：榛木恵子(関西NGO協議会事務局)
- 理事：藤野達也(PHD協会総理事代行)
- 理事：松本誠(明石まちづくり研究所)
- 理事：村井雅清(被災地NGO協働センター代表)
- 理事：村上忠孝(村上環境住宅研究所)
- 理事：吉富志津代(多言語センターFACIL代表)
- 理事：中川和之(時事通信社)
- 監事：飛田雄一(神戸学生青年センター館長)

文責：仲江川徹(事務局)

専門セミナー報告

主に医療従事者を対象にした専門セミナー「病院・福祉施設の防災対策」が、ひょうごボランティアプラザで開催され、人とたいへん多くの方にご参加いただきました。

講師には神戸大学都市安全研究センター教授で防災、特に防火対策の第一人者でもある、室崎益輝副代表理事が努めました。

はじめに過去、国内の医療施設で発生した火災・地滑り等の災害事例をもとに施設関係者の対応や問題点について語られ、次に防火設備の不備から起こる被災の拡大や搬送方法の違いによって生まれる避難時間の差など詳細なデータからの適切な対処方法について報告されました。

既存の施設での問題点として、設計上起きる避難時の搬送器具の経路不備、病室のバルコニーが延焼拡大を防ぎ、有効な避難経路の確保につながるが日本の施設には少ないなど、興味深い話が続きました。

最後に防災対策のポイントとして、避難誘導マニュアル作成や誘導體制の充実、避難施設の改善、地域コミュニティとの日々の連携が重要であると述べられました。



質疑応答も活発に行われました。今回参加された消防関係者からも災害が発生したときの対応や防災器具の説明、設備の法的な問題などの話もあり、医療従事者だけでなく一般の参加者にとっ

ても「防災」について考える有意義なセミナーとなりました。

今後も専門セミナーは、開催していく予定です。決まり次第、皆さまへは、本レター、ホームページ及びmailなどにてご紹介させていただきます。

NGOことはじめセミナー報告

昨年度から3シリーズ目の「NGOことはじめセミナー」が始まりました。このセミナーは「NGOとは一体何なのか？」を切り口に、具体的なNGO活動や国際協力の現状、あり方について多くの方に知ってもらい、ご理解頂くセミナーです。

第1回は「NGOって何？」と題して、CODE理事でもある関西NGO協議会事務局長の榛木恵子さんを講師にお迎えしました。NGOを理解する基礎として、NGOという言葉の由来、日本におけるNGOの歴史など概論的な話から、国連・ODA・NGOをキーワードにこの3つの国際協力のあり方について、分かりやすく説明していただきました。

また、どうすればNGOに参加できるのか、自分に何ができ

るのかという参加者から質問に対し、具体的なアドバイスもされました。

CODEは市民が主体的、自発的に行動することをサポートする「場」でもあります。今後予定されているセミナーについては、下記の通りです。参加をご希望される方は事務局までご連絡下さい。



第3回 6月18日(水)18:30~20:30

テーマ:「貧しさに立ち向かう~貧困問題とNGO~」

講師:池住 義憲さん(国際民衆保健協議会日本連絡事務所)

第4回 7月1日(火)18:30~20:30

テーマ:「開発援助とNGO~アジアの草の根開発支援~」

講師:藤野 達也さん(PHD協会総主事代行)

第5回 7月10日(木)18:30~20:30

テーマ:「NGOの果たす役割~私たちのできること~」

講師:村井雅清さん(被災地NGO協働センター代表)

いずれも場所は、CODE事務局です。

これまでの活動記録4/18~6/5

- 2003 5/ 1 10周年国際会議準備会
- 5/16 NPO法人設立総会
- 5/17 関西NGO協議会年度総会出席
HuMAイワ報告会参加
- 5/18 専門セミナー開催
- 5/19 NGOことはじめセミナー第1回開催
- 5/22 アルジェリア地震発生
- 5/23 アルジェリア救援活動開始
- 5/29 CODE基金会議/神戸商科大学アガカス報告会開催
- 5/30 ユーブこうべ災害緊急支援金運営委員会にてアガカス報告
- 6/ 3 NGOことはじめセミナー第2回開催

ありがとうございます。

会員・寄付者ご芳名(以下順不同・敬称略)

一般寄付<2003年3月17日~5月6日まで>

野崎隆一、今井鎮雄、室崎益輝、和田龍太郎、鶴飼卓(以上兵庫県)、榛木恵子(大阪府)

新規会員<2003年4月1日~5月6日まで>

- ・正会員:中川和之(東京都)、榛木恵子(大阪府)、野崎隆一、飛田雄一、今井鎮雄、大津暢人、吉富志津代、室崎益輝、大谷成章、圓城啓彰、中村稔、明石和成、ラジブ・ショウ、橋口文博(以上兵庫県)
- ・賛助会員:是枝元(長野県)、浦野愛(愛知県)、橘高宏蔵、李紫君、杉田文夫、井上由紀子(以上兵庫県)

編集・発行 CODE海外災害援助市民センター
〒652-0801 神戸市兵庫区中道通2-1-10
TEL:078-578-7744 FAX:078-576-3693
e-mail info@code-jp.org URL <http://www.code-jp.org/>
郵便振替:00930-0-330579

CODE プロジェクトニュース ダイジェスト版

CODE(海外災害援助市民センター)
〒 652-0801 神戸市兵庫区中道通 2-1-10
Tel: 078-578-7744 Fax: 078-576-3693
e-mail: info@code-jp.org
URL: http://www.code-jp.org/

アルジェリア地震救援 (2003年5月23日～)

5月21日20時45分頃(日本時間5月22日午前3時46分頃)にアルジェリア地震が発生しました。これまでにわかっている被害では死者2,251人、負傷者1,0243人。現地では以前として、余震におびえる日々が続いています。

CODE アルジェリア地震支援開始

CODEは救援活動を開始することを決定し、CODE海外研究員であるクワテモックさん(メキシコNGO)を第一次調査員として現地に派遣することを決定しました。

クワテモックさんは、1985年のメキシコ地震以来被災地の再建活動に取り組んできたNGOの第一人者で、これまでもNGOs KOBEとの連携でトルコ地震、ベネズエラ水害、エルサルバドル地震、メキシコユカタン半島ハリケーンなどでも活動してきた方です。また、トルコ地震の時にも私たちNGOと一緒に現地入りし、トルコの被災者を励ましてくれました。



アルジェリアテント



がれきの山 (ロイター通信より)

1995年阪神淡路大震災の直後、アルジェリア政府から兵庫県へものすごく大きなテント90張が届けられました。いつのまにか、それは「アルジェリアテント」と呼ばれるようになり被災地でふれあいのテントとして使用されました。この度のアルジェリア地震に対して、あの時「アルジェリア・テント」でお世話になった関係者有志で、「被災地にテントを返そう!!」ということで募金活動を始めました。是非、ご協力下さい。これまでの動きについては別紙を参照ください。

アルジェリア支援者～5/27まで 敬称略・順不同

三島(東京都)、河野(奈良県)、中村(神奈川県)、桜屋、畑中、押川(以上京都府)、押谷、横田、浦崎(以上大阪府)、倉賀野、杉本、津田(以上兵庫県)

アフガニスタン救援プロジェクト(2002年7月17日～)

アフガニスタンのぶどう「オーナー」になりませんか?

CODEアフガニスタン救援プロジェクトのひとつであるぶどうプロジェクトでは現在「ぶどうオーナー」を募集中です。ぶどうプロジェクトの進められている地域は、首都カブールの北部にあるショマリ平原です。ショマリ平原は、これまでタリバンと北部同盟の内戦の最前線として戦いが行われてきた地域です。その紛争でこれまで、肥沃な大地であったぶどう畑は、ほとんどが焼け野原と化しました。

その紛争で各地に避難し、ショマリ平原へ帰還してきた300家族を支援します。ぶどうの「オーナー」には1口3,000円でなることができます。ぶどうの生育状況や、支援家族などの紹介も随時いたします。ご興味のある方は事務局までお問い合わせください。(: 078 - 578 - 7744) 詳しいパンフレットをお送りいたします。

また 6 月 8 日より 6 月 19 日まで、「アフガニスタン救援委員会」より事務局の被災地 NGO 協働センター代表でもある村井雅清運営委員が、現地入りをします。今回の派遣では、ぶどうプロジェクトの視察を行い、6 月 16 日から 18 日まで地震に強い家を作るための研修会が、カブールで国連地域開発センターとアフガニスタン政府によって開催されます。研修会には 2002 年 3 月に起こった北西部地域ナハリン地震で被害を受けた大工さん、石工さん、地域のコミュニティリーダーなど多数の参加者で構成され、簡単に壊れない家を作る大切さを学びます。この研修会は CODE も後援として参画しております。

帰国後、皆様には CODE レターなどを通じて報告させていただきます。



ぶどう畑の男性

トルコピンギョル地震救援（2003年5月3日～）

2003 年 5 月 1 日トルコ南東部、ピンギョル州でマグニチュード 6.5 の地震が起きました。偶然にも 1999 年のトルコマルマラ地震の際に神戸の NGO が中心となって作られた「トルコ北西部地震・緊急救援委員会」のメンバーの一人が休日を利用して、現地を訪問中でした。そこで急遽、滞在期間を延長していただき、現地視察をお願いし、現地の情報を届けていただき、現地の再建の支援を行うことに決定しました(別紙の新聞記事をご参照下さい)。詳細なレポートについてご入り用の方は、事務局までご連絡下さい。e-mail、FAX もしくは郵送にて対応させていただきます。

トルコ支援者～5/29まで 敬称略・順不同

庄野（埼玉県）、山森（奈良県）、谷口、松本（以上大阪県）、小松原、龍野教会、神沢、高田、大崎、圓城、篠崎、いなだ、津田、宇野（以上兵庫県）

中国ウイグル地震救援（2003年2月27日～）

2 月 24 日におきました中国新疆ウイグル地震支援につきまして、皆様に活動ニュースが出されていないことをお詫びいたします。当初予定されていましたが、流行中である SARS（新型肺炎）の影響により視察が延期されております。なお現地で倒壊した小学校建設のための募金活動は現在も続けております。ご支援・ご理解よろしくお願い致します。

募金について

募金にご協力して頂ける方は、下記の郵便振替口座にて、通信欄に「アルジェリア地震」「アルジェリア・テント」または「アフガニスタン支援」「トルコ支援」「ウイグル支援」と明記してください。なお、アルジェリアテント支援を除き、集まった募金の 15% を上限として事務局運営・管理費に充当させていただきます。

口座番号:00930 - 0 - 330579

加入者名: CODE

加入者名を変更いたしました！

CODE の活動は、様々な方のご支援に支えられて行われています。すべての皆様にご報告を直接させていただきたいのですが、時間的な制限もあり、ホームページやメーリングリスト、FAX などを通して広くご報告させていただいております。ご理解のほどよろしくお願い致します。メーリングリストへの参加や FAX 通信をご希望の方は、ご遠慮なく事務局までお問い合わせ下さい。当センターのホームページ <<http://www.code-jp.org/>>にも同様のものをアップしております。